

東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業 概要

1 事業の目的・概要

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に、本県選手を1人でも多く輩出するため、ジュニア世代の選抜選手及び障害者アスリートを強化する取組へ助成する。

2 事業内容

(1) 対象及び助成内容

競技団体等作成の競技力向上計画に基づく各種取組に対し、補助率10/10～1/2で助成。

対象者	東京オリンピック実施33競技の ジュニア世代選抜選手 (H30:16歳～26歳)	東京パラリンピック実施22競技の 選抜選手 (H30:12歳以上)
助成対象となる取組	○海外遠征の実施 ○国内遠征の実施 ○競技用具の整備 ○トップレベル指導者の招聘 等	○合同練習・合同合宿の実施 ○海外遠征の実施 ○国内遠征の実施 ○競技用具の整備 等
事業実施機関	千葉県競技力向上推進本部	(一社)千葉県障がい者スポーツ協会

(2) 強化期間

平成26年度～平成30年度

3 指定基準 (競技団体等推薦基準)

- ・ 各世代の日本代表選手
- ・ 全国大会上位者 (個人3位以上)
- ・ 過去の成績や競技記録等が全国大会上位者と同等であると認められる者。



強化指定証授与式の様子 (平成29年7月18日)

4 指定実績

	年度	H30	H29	H28	H27	H26 ※
オリンピック部分	特別強化指定 (個人)	117名	121名	144名	126名	120名
	基礎強化指定 (個人) (団体)			148名 13団体	218名 13団体	411名 12団体
パラリンピック部分	特別強化指定 (個人)	52名	55名	48名	40名	
	基礎強化指定 (個人) (団体)	33名 2団体	36名 2団体	44名 3団体	50名 3団体	

※ 平成26年度は「めざせ東京オリンピックちばジュニア強化事業」としてジュニア世代の強化指定及び助成を実施。平成27年度から障害者アスリートを対象に追加し、本事業名で実施。

(参考) 平成29年度強化指定選手の主な活躍状況

- ① 国際大会…レスリング世界選手権優勝、柔道世界選手権優勝、ユニバーシアード体操団体優勝、知的障害者陸上世界選手権第1位など、各種国際大会で活躍
- ② 国内大会…国民体育大会において、49名が出場し1位10名を含む41名が入賞、全国障害者スポーツ大会において、22名が出場し金メダルを30個獲得したり、大会新を11個記録したりするなどの活躍